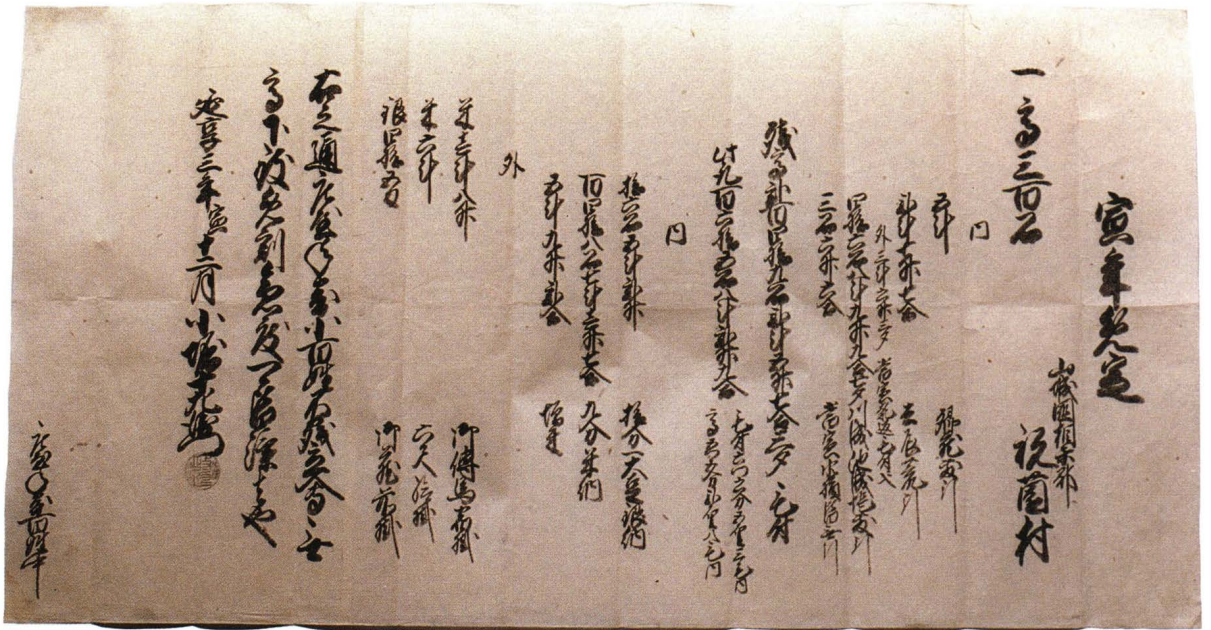


北福八間村相給絵図 岩里周英家文書

明治初期の作成と思われる北福八間村の絵図。江戸時代、相給（複数領主の支配）村であった北福八間村の耕地が、個別の田畑に至るまで、領主別に分けられていたことを示しています



寛定 (1746 = 延享3年) 庄田隆司家文書



五人組帳 (写) (1808 = 文化5年) 庄田隆司家文書



宗門人別改帳 (1850 = 嘉永3年) 庄田隆司家文書

江戸時代、住民は家族単位に「宗門人別改帳」(宗教・戸籍簿)に登録されていました。年貢は村あての「免定」(納税通知書)で総額が通達され、完納すると「皆済目録」が渡されました



精華町役場行政文書

旧村時代（1955 = 昭和30年町制施行以前）の行政文書。會議録は1884（明治17）年以来177点が、統計は1893（明治26）年以来168点が残存しています



日清・日露戦争当時の軍事郵便 松田安司家文書

菅井村の青年修養団体である修徳社の会員が、修徳社社長の松田弥三郎に出した手紙、総計116通が、整理されて残っています



ほうその いごもりまつり  
祝園の居籠祭 祝園神社 京都府指定無形民俗文化財（1991 =平成3年1月撮影）

毎年正月申さるの日から3日間行われます。2日目の御田おんだの儀では、古式にのっとり、白衣に水色のはかま姿、頭かぶを白布びろで桂包かいつづあのように包んだ氏子が、大たいまつをかついで華ノ森はなのもりにむかいます



しほうまい ぎくろ  
四方参り 柘榴 東谷神社（1987 =昭和62年2月撮影）

いまなお、宮守を中心とした宮座が、数多い神社の年中行事をとり行っています。これは村の四方を守るほこらにお参りする四方参りの行事です

# <目 次>

## 古代

1. 地域のどよめき ..... 1
2. ツツキ（綴喜）へ来た人々 ..... 6
3. 平城京の造営と瓦窯跡 ..... 10
4. 平安時代の仏像 ..... 16
5. 都と南都をむすぶ道 ..... 19

## 中世

1. 荘園の世界 ..... 22
2. 応仁の乱と精華町 ..... 27
3. 山城国一揆 ..... 30
4. 戦国時代の精華の城 ..... 34
5. 戦国から安土桃山へ ..... 37

## 近世

1. 精華町域の幕藩体制 ..... 39
2. 複数領主支配の村々 ..... 44
3. 村社会の諸類型 ..... 47
4. 用水と山野の利用 ..... 52
5. 旗本と在地代官 ..... 57

## 近代

1. 黒船来航 ..... 60
  2. 明治維新と新政府の政策 ..... 64
  3. 自由民権運動と日清・日露戦争 ..... 70
  4. 村の生活の変化 ..... 75
  5. 農村不況と第二次世界大戦 ..... 80
  6. 町名の由来と精華高等小学校 ..... 87
  7. 町制施行から学研都市へ ..... 90
- ※略年表 ..... 96